

じんげん ア ジ ール asile

春夏号
2016
大谷大学広報誌

人と向き合い人を想う心こそが
子どもたちを育てる力になる

人と向き合い人を想う心こそが 子どもたちを育てる力になる

2009年4月からスタートした教育・心理学科をはじめ、大谷大学には教職の道をめざす学生が数多く集まっています。

次代を担う子どもたちの教育現場において今何が求められているのか、

「人間学」を基盤とする大谷大学ならではの学びがどう活かされているのか、

実際に学校教員として活躍する3人の卒業生に集まっていただき、木越学長と共に語り合っていました。

人との出会いのなかで 進むべき道が拓いていった

木越 川井さんと橋長さんは小学校、美濃部さんは中学校で活躍されていますが、皆さんはいつ頃から教職をめざしたのですか？

川井 実は、高校生の時は音楽療法士に興味があって、入学当初は教師になるとは思っただけです。1年生の夏に教育現場を体験できる学校ボランティアに参加して、そこから本格的にめざすようになりました。

橋長 私も同じです。教職への漠然とした憧れをはっきりとした目標にしたのが学校ボランティア。実際に子どもたちと接することで、「先生になりたい！」という想いが強くなりました。

木越 お二人とも教育・心理学科の一期生ですね。

川井 はい。高校の先生から「音楽と子どもが好きなら教職という道もある。大谷大学の教育・心理学科は新設されたばかりだから自分たちで自由に創っていきませんか？」と勧められて選びました。

橋長 少人数制だったし、一期生ということもあって仲間同士のつながりも強かったですね。私は心理学にも興味があったので、教育と心理の両方を学べるという点にも魅力を感じて選びました。
美濃部 私はお二人より3年先輩で、まだ教育・心理学科はなかった時代。学校ボランティアの機会も少なくて正直うらやましいです。

木越 美濃部さんは仏教学科でしたが、教職をめざして入学を？

美濃部 はい。ずっと野球をやっていたので、教職に就いて野球部に携わるのが夢でした。中学の時の担任が、言葉は少なくもしっかりと生徒を見てくれる素晴らしい先生で、「こんな人になりたい」と思ったのがきっかけです。

木越 それぞれに経緯は異なるものの、先生や子どもたちなど、人との出会いのなかでめざす道が拓けたという感じですね。

川井 そうですね。学校ボランティアを勧めてくださった教職支援センターの方、親身に指導してくださった先生やアドバイザーの方がいなかったら、今の自分はいなかったと思います。

大切なのは人と向き合い 一人ひとりを大切にする姿勢

木越 実際に教員として現場に立ってみたいかがですか？

橋長 子どもたち一人ひとりに応じた対応が必要とわかっていても、簡単ではないですね。学力差を含め本場に多様な個性があって、自分一人の知識では対応できない部分があると痛感します。

川井 さらに個々の発達状況や家庭事情など、考えるべき要素は山ほどあって難しいです。授業のスキルだけでは実際の現場では通用しないんだなと。
美濃部 生徒はもちろん、保護者や教員などさまざまな人との関わりがありますから、人とどう向き合うかという



大谷大学 学長 木越 康 Yasushi Kigoshi

専門分野／真宗学。1985年大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻修士課程入学。1990年大谷大学大学院博士後期課程満期退学(真宗学専攻)。1994年私学研修福祉会国内研修終了。大谷大学短期大学部准教授、大谷大学准教授、同大学教授を歴任し、2016年4月より第28代学長。

ことが重要ですよ。

木越 そうしたなかで、大谷大学の学びが力になっていることはありますか？

川井 先生方がおっしゃっていた「一人ひとりを大切に」という言葉を、今改めて噛みしめています。

橋長 本当にそうですね。一人ひとりをしっかりと見ていると気づけることがたくさんあります。ほんの小さな変化を見逃さないことが大切ですね。

美濃部 私は仏教学科で、死について学べたことも良かったと思います。子どもたちの前では、死といった負の部分にはフタをされがち。でも、命の大切さを学ぼうと決して目を背けてはいけないと思うんです。

木越 普段の言葉でも、「死ね」など口にして生や死を軽々しくあつかっているのも気になりますね。

美濃部 人を傷つける言葉もそうです。単に「ダメ」と叱っても子どもたちはわからない。口にした子どもも聞いていた子ども、みんなで一緒に考えることが必要だと思っんです。

木越 どうしても人は人を傷つけるも



の。そういう人間だからこそ、人間とは何か、自分とは何かをしつかりと考えていかないといけない。大谷大学の学びの礎となる人間学は、今後も大事にしていきたいところです。

もっと自由に積極的に多くの経験が人を成長させる

川井 学びの内容もそうですが、大谷大学で得た人とのつながりも大きな力になっていますね。運動が苦手な私に付きっきりで指導して下さった先生のこと、今も忘れることができません。

橋長 教職員と学生の距離が近いのは、大谷大学の大きな魅力ですよね。学生一人ひとりをきちんと見てくれていて、決して見捨てないというか…。

美濃部 そうそう。実は私は4回採用試験に落ちていて、5回目にしてようやく合格したんです。その間、卒業後にも関わらず、いつも気に掛けて励ましたりサポートしてくださったことが、本当に心強かったですね。そして、やっと受かった時の「回り道したから

こそわかることがあるし、人の痛みに気づける先生になれるはずだよ」という言葉で、この経験は決してムダじゃないんだと自信にもつながりました。

川井 だからこそ、もっともって学生自身が積極的に教職員の方にもぶつかっていったほうがいいと思いますね。例えば、一期生の私たちがつくった運動会ですけど、継続するのも良いのですが新しいことにも挑戦したらいんじゃないかなと。それをさせてくれるのが、大谷大学だと思うし。

橋長 そうですね。特に教育・心理学科は自分たちのやりたいことを自由にできる面白さがありますよね。学生が主体となって新しい学びや文化をつくりあげてほしい。

木越 そうしたいろいろな経験のおかげで、考え、悩み、解決していくことで、大きく成長できるはずです。

美濃部 そして一人でも多くの学生に、人と人とのつながりや人を大切にする姿勢を学んでほしいです。そんな人物こそが、これからの教育現場に求められているのですから。



美濃部 俊道
Toshimichi Minobe

2010年3月
仏教学科卒業
滋賀県長浜市立
北中学校にて勤務



川井 柚香
Yuka kawai

2013年3月
教育・心理学科卒業
京都市立
金閣小学校にて勤務



橋長 みさき
Misaki Hashinaga

2013年3月
教育・心理学科卒業
私立光華小学校
(京都市)にて勤務

私たちのキャンパス紹介



→ 本部キャンパス総合整備計画の詳細情報は… <http://www.otani.ac.jp/buildup>

新入生へのメッセージ ①

多種多様な学びを広げていけるようになっています。

数少ない、文系でありながら、情報を学べるという点に惹かれて入学を決めました。今は、主にITパスポート試験の合格をめざすゼミに所属しています。同じ学科であってもゼミごとに多様なことを学べるようになっていきます。皆さんも、少しでもやってみたいと思っただことは、どんどんチャレンジしていただください。



三上 梨沙
(人文情報学科 第4学年)

新入生へのメッセージ ②

ボランティア、サークル…新たにチャレンジする機会もたくさん!

「ボランティアで人の役に立ちたい」「サークルで新しい趣味を見つけたい」など大学生になったらやってみたいことが新しく見つかるかもしれません。そんな時は思い切って挑戦してみることも、大学生ならではの過ごし方かもしれません。そこで得られたものは、きっとあなたの大切な財産の一つになりますよ!



溪 響
(社会学科 第3学年)

キャンパスカレンダー

4月

- 入学式・オリエンテーション
- 前期授業開始
- Web聴講登録
- 若葉祭

5月

- 宗祖誕生会

6月

- 「卒業論文」「卒業研究」題目届提出

7月

- 前期定期試験

8月

- 夏期休暇



7月のキャンパス風景



総合研究室での様子



4月のキャンパス風景



入学式の様子

慶間館／きょうもんかん

「慶間」は「教行信証」の総序「斯以慶所聞、慶所獲矣。」より引用（このことをもって、聞くことを慶び、獲ることを嘆ずるなりと。）

2016年度前期末でⅡ期工事が完了し、後期授業より中央・南工の運用を開始します。

1階中央の学生ロビーには学内カフェが併設され、その周囲には学生支援部（教務課・学生支援課・キャリアセンター）事務室をはじめ、学習支援室、語学学習支援室、文藝塾などのさまざまなサポートセンターを配置します。

2階～5階には、さまざまなタイプの教室を配置します。また、3階には情報系教室、5階には教員の個人研究室も配置します。

Ⅲ期工事は2016年秋に着工し、2018年3月末には竣工を迎え、2018年4月にグランドオープンを迎えます。

尋源館／じんげんかん

1913年に竣工され、2013年に100周年を迎えました。赤レンガの外装が特徴のシンボリック建物です。2階の尋源講堂では、朝の勤行が行われています。

至誠館／しじょうかん

1F 教務課・学生支援課・キャリアセンター

大学内の職員室のような場所です。奨学金のことや試験のことなどでわからないことがあった時など、困った時には至誠館へ。移転の詳細は右ページ参照。

博綜館／はくそうかん

1F 保健室・学生相談室・人権センター

学生生活における不安や心身の健康、人権に関する相談窓口が集まっています。何か不安があれば、独りで悩まず気軽に訪ねてください。

4号館

1F 教職支援センター

教員免許の取得や教育実習についての相談のつてくれる頼れるアドバイザーがいます。教員採用試験に関する資料も多く、パソコンも使用できるので教員をめざしたい方はぜひ利用してください。

響流館／こうりゅうかん

B1F 購買部(セブンイレブン)

大学構内に、購買部としてセブンイレブン大谷大学店が営業しています。谷大グッズや大学生活で必要な文房具などを購入することができます。

B1F 学内書店 文栄堂

教科書や辞書をはじめ仏教関係の専門書、新書、文庫本から雑誌まで揃えています。またレポート、卒業論文などに必要な大谷大学論文用紙も販売しています。

1F 博物館

真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学など、他分野にわたる史・資料を所蔵する博物館です。定期的に企画展や特別展を開催しています。

3F 語学学習支援室 (GLOBAL SQUARE)

留学や語学学習、留学生との交流に興味のある学生をサポートする部屋です。留学説明会や勉強会、留学生との交流イベントなどを実施しています。

部室棟

部室棟には各クラブの部室が一同に集まっています。気になるクラブがあれば、学生手帳に部室の場所が載っているので、どんどん訪ねてみてください！



どれだけ知識を深められるかは自分次第です!

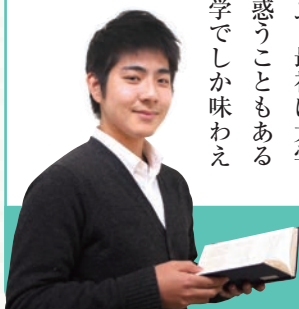
専攻している学科の専門的な講義だけでなく、他学科の講義を受講することもできるため、さまざまな分野から学ぶことが可能です。資料や文献が充実しているため、興味のあることがあれば積極的に取り組んでみることをおすすめします。他にも、資格取得のための講義も受講することができます。自分の学びたいことをたくさん見つけてみてください。



細木 彩香 (仏教学科 第3学年)

新しい生活は不安でいっぱい...、だけど何事も挑戦あるのみ!!

僕は教職課程をとっているため、難しい授業も多く、兵庫県の自宅から通っているので大変なことも多いです。しかし部活に行ったり、休日には友人たちと遊んだり楽しい時もたくさんあります。最初は大学生活に不安を感じたり、戸惑うこともあるかもしれませんが、この大学でしか味わえない貴重な体験が多くあるので、皆さんもいろんなことに挑戦し、楽しい大学生活を送ってください。



中村 祐太 (歴史学科 第3学年)

9月

- 集中講義
- 後期授業開始
- Web聴講登録修正



開学記念式典の様子

10月

- 開学記念日



学園祭の様子

11月

- 学園祭「紫明祭」
- 大学報恩講
- 「卒業研究」提出 (仏教科・幼児教育保育科)



11月のキャンパス風景

12月

- 冬期休暇



1月のキャンパス風景

1月

- 「卒業論文」提出
- 後期定期試験
- 卒業論文口述試験

3月

- 卒業証書・学位記授与式



卒業式の様子

Pick Up! クラブ活動



好きなことに、
思いきり夢中になってみよう。

心から夢中になれることって、そんなにない。
だから見つかったら、納得のいくまで追求してみよう。
学生時代は、そんな気持ちを大切に育て、
たくさんの友達と共有できる時。
「好き」ということに、とことんこだわると、
あなたの人生はきつと豊かになる。

茶道部

部員数…11名(男2名・女9名)
所属団体…裏千家学生茶道研究会
活動日…週3回(月・水・金曜)
毎週月曜日は家元稽古
活動場所…部室棟1階
顧問名…藤枝 真

私たち茶道部は、年に2回ある外部で行う茶会を目標に日々の稽古を行っています。
月曜日は裏千家のお家元に向かい、業躰(ぎょうてい)先生に指導してもらっています。水・金曜日は部室で上級生が後輩に点前などの指導をしています。

茶会の際は着物を着ます。そのため、茶会の一ヶ月前から着物の着付けの練習や強化稽古を行っています。

茶道と聞くと堅苦しいイメージを持たれる事が多いのですが、部員同士仲良く和気あいあいと稽古をしています。興味があったらぜひ見学に来てください！

主な年間スケジュール

- | | |
|-------------|----------|
| 5月 新入部員歓迎茶会 | 10月 秋季茶会 |
| 7月 夏季茶会 | 1月 初釜 |
| 8月 夏季合宿 | 3月 卒業茶会 |



大谷弦楽アンサンブル

部員数…12名(男4名・女8名)
活動日…週2回(火・金曜)
顧問名…村山 保史

私たちは、弦楽器(ヴァイオリンやチェロ、ビオラ)を演奏し、楽しみながら上達することを目指して活動しています。また、より多くの方々に弦楽器の魅力を感じ取ってもらえるよう毎年12月に定期演奏会を開催しています。

昨年度の9月6日には、京都市北文化会館にて開催されました北区民ふれあい発表会にも出演させていただきました。少しでも弦楽器やクラシック音楽に興味のある方は、演奏者・マネージャーともに募集していますので、ぜひ見学に足を運んでみてください。

主な年間スケジュール

- | | |
|-----------------|------------------|
| 4月 若葉祭(ミニコンサート) | 11月 紫明祭(ミニコンサート) |
| 8月 夏合宿 | 12月 定期演奏会 |



2015年度秋季大会等結果

※学生の学年は、大会時のものです。

演劇部

京都学生演劇祭2015

3位入賞

開催日：2015年8月26日～8月31日

硬式野球部

平成27年度 秋季リーグ戦

I部5位(I部残留)

開催日：2015年8月31日～10月31日

ベストナイン(サード)
(DH(指名打者))
新人賞(投手)

土平厚樹／仏教学科第3学年
高橋拓巳／歴史学科第1学年
橋本直弥／社会学科第1学年

サッカー部

関西学生サッカーリーグ(後期)

3部Aブロック4位(3部残留)

開催日：2015年9月27日～11月21日

ベストイレブン(FW) アシスト王
能勢 健人／国際文化学科第2学年
長谷川 亮也／人文情報学科第3学年

バドミントン部

関西学生バドミントン新人戦大会

【女子】Bブロック優勝

開催日：2015年11月9日～11月23日

高本 悦子／教育・心理学科第2学年



写真提供：大谷大学新聞社

硬式野球部は、京滋大
学野球連盟I部リーグに所属し
ており、週6回湖西キャンパス
グラウンドにて練習をしていま
す。部活推薦の制度はなく、本当
に野球が好きなたちが集まっ
て日々活動しています。私たち
の目標は、春と秋に行われる
リーグ戦で優勝し東京の明治神
宮球場で行われる全国大会に出
場することです。礼儀や上下関
係をしっかりしつつも、先輩と
後輩の仲が良く、部員全員で協
力して活動に取り組んでいま
す。楽しく、本気で野球に取り組
みたい方はぜひ入部して一緒に
活動しましょう！

硬式野球部
部員数 … 41名(男39名・女2名)
所属団体 … 京滋大野球連盟
活動日 … 週6回(火・日曜)
活動場所 … 湖西キャンパスグラウンド
顧問 … 箕浦 曉雄

主な年間スケジュール

3月～5月 春季リーグ戦

8月～10月 秋季リーグ戦

6月 新人戦

11月 滋賀県社会人大学野球交流大会

7月 夏期合宿

2月 宮古島キャンプ



弓道部は今年で50周年を迎
える、伝統のある部活です。そ
のためOBとの交流も多く、幅
広い年代の方と弓を引くこと
ができます。我々の流派は大会
に出場できないため、師範のも
とで真面目に、時には楽しく気
持ちの切り替えを大切にして
活動しています。
一から丁寧に先輩が教えて
くれるので、未経験者でも大丈
夫です。少しでも弓に興味があ
りましたら、部室までお越しし
てください。

弓道部
部員数 … 20名(男15名・女5名)
所属団体 … 正法林 無影心月流
活動日 … 週3回(月・水・金曜)
活動場所 … 弓道場
顧問 … 浅見 直一郎

主な年間スケジュール

5月 新入生歓迎会

10月 直心精射会
一夜合宿(姫路)

2月 寒稽古

6月 一夜合宿(京都)

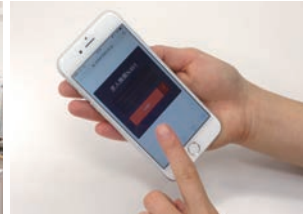
12月 弓納め

3月 春合宿

8月 夏季修行

キャリアガイド

自らの人生を切り開いていけるよう、キャリアセンターを大いに活用しよう。



就職環境について

昨年度は、経団連の「採用選考に関する指針」により、企業の広報開始が卒業前年度の12月1日から3月1日に、選考開始日が4月1日から8月1日に変更されました。

しかし、経団連非加盟の企業の中には指針の選考開始日を待たずに選考を行う企業がありました。先に内定を得た学生が、8月1日以降の選考結果により内定を辞退するケースが多く発生した結果、追加募集など就職活動の期間が長期化し、企業、学生双方に負担や戸惑いがあったことが課題としてあげられました。

2016年度は、経団連の「指針」が改定され、企業の選考開始日が8月1日から6月1日に変更されることとなりました。

これによって、就職活動の長期化や内定辞退の問題も緩和されるものと期待されます。

ただし、広報活動の開始日から選考開始までの期間が短縮されることから、早期からの準備の重要性が高まります。

また、企業の採用意欲も高く、求人も多く寄せられていますが、経済情勢、世界情勢の変動により状況が変化する不安はぬぐえませんが、油断せず、しっかりと活動することが重要です。

このような、就職環境の変更や経済情勢などの外的要因に左右されることなく、自分らしさを発揮し社会で主体的に生きていくためには、まず自らを知り、人間力を高めることが大切です。した

がって、入学後のできるだけ早い時期に、①将来の目標を定めるなどの人生設計（キャリアデザイン）を行うこと、②社会で求められる力（チームで働く力、前に踏み出す力、考え抜く力）を身につけること、を意識し実践する必要があることです。学業だけでなく、クラブ・サークル活動やボランティア活動、自らの趣味などに時間を有効に使い、さまざまな経験から視野を広げ、学生生活を充実させることが肝要です。

キャリアセンターを活用しよう

キャリアセンターでは、卒業後の進路について、個別面談をはじめ、さまざまな支援を行っています。

特に就職に関する支援においては、求人情報や企業情報、過去の入社試験情報などを提供するとともに、左ページのとおりに、さまざまな就職支援企画を実施しています。

そのほか、大学院への進学や短期大学部からの編入学などについての相談にも応じています。

自分のキャリアデザインを実現できるよう、学年を問わず、キャリアセンターを大いに活用してください。

進路・就職システム「大谷大学就職ナビ」

本学では、進路・就職システム「大谷大学就職ナビ」へ進路希望登録が必要を運

用し、大学に届く求人情報、企業情報を提供しています。これらの情報は、学内外のパソコンだけでなく、携帯電話、スマートフォンからも閲覧できます。

また、本システムのメール機能を活用し、ガイダンスや講習など各種支援企画のお知らせや求人情報を配信しています。

就職支援企画

① 個別相談・模擬面接の実施

キャリアセンターの職員やキャリア・アドバイザーが進路に関する相談に応じるほか、就職に関する応募書類（履歴書・エントリーシート）の作成補助・点検や模擬面接など、学生一人ひとりに応じた支援を行っています。

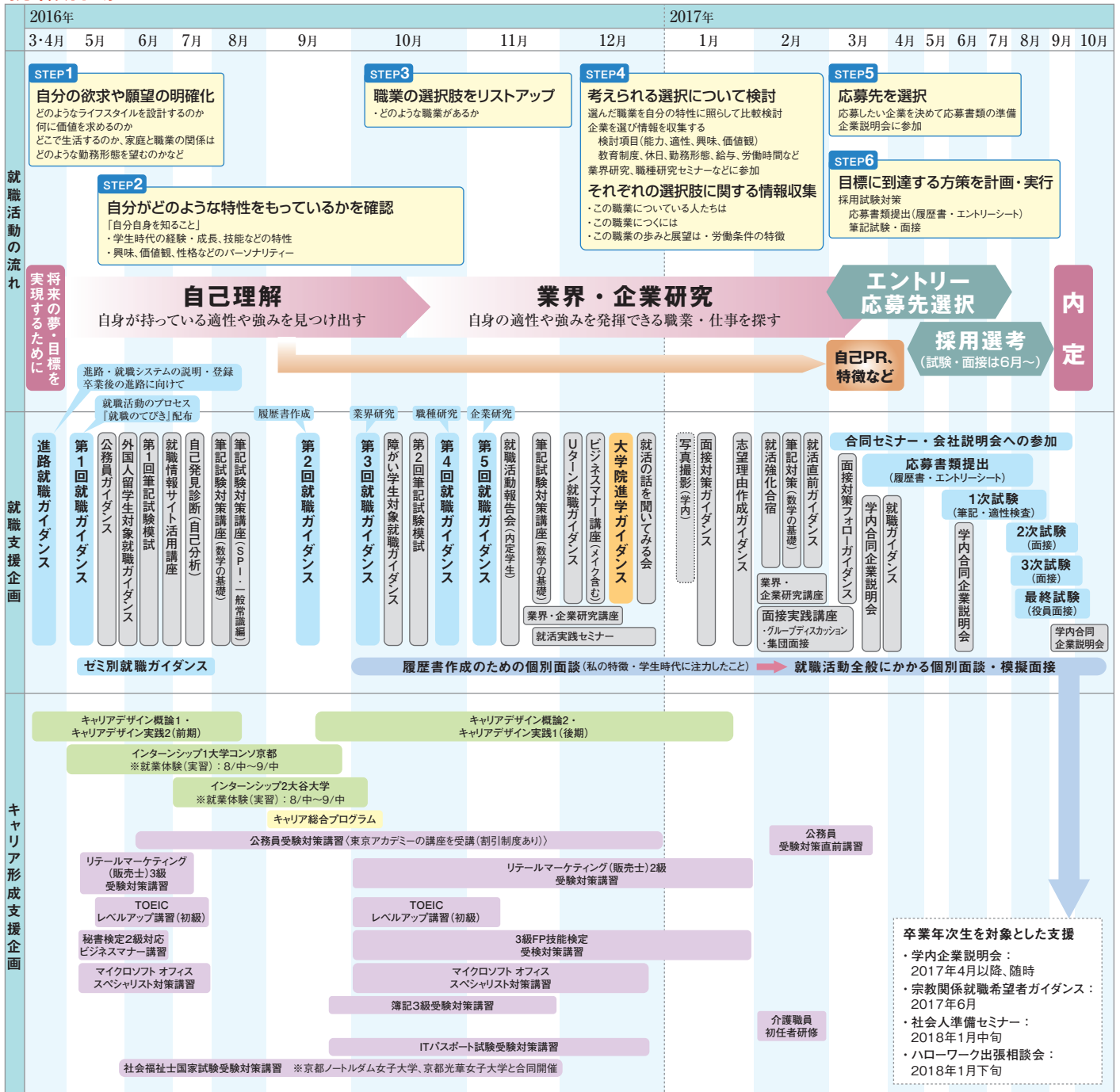
② 就職ガイダンスや各種対策講座の実施

卒業後の進路や就職活動に対する理解を深めるとともに、就職活動に必要な力、マナーを身につけるためのガイダンスや実践講座を実施しています。

キャリア形成支援企画の実施

卒業後の人生設計を考えながら、目標をもって学生生活を送り、社会人・職業人として必要な意識や職業観を身につけるためにインターンシップ（正課科目）、資格対策講習などのキャリア形成支援企画を提供しています。

就職活動プロセス (2018年3月卒業・修了予定者)



※教員(幼稚園、小学校、中学校、高等学校)・保育士をめざす学生の就職活動プロセスは、対象となるガイダンスでお知らせします。

就職活動体験記

昨年度から就職活動のスケジュールが変更され、活動開始が遅くなり、活動が短くなると知り、学内インターンシップ、学内セミナー、就職活動のための合宿、面接対策講座等に積極的に参加して準備をしました。3月のエントリー開始と同時に企業説明会等に参加し、11月中旬に内定をいただき、思ったより長期間の就職活動でした。活動中は、キャリアセンターでの個別相談で職員の方から、「なんでそうしたの」などと理由を聞かれました。面接でも「そのこと理由を含めてお答えください」と言われることが多くあり、自分の行動に対して原因を探ること、経験を掘り起こすことの大切さを学びました。また、就職活動の目的は内定を得ることではなく、入社後どう働くかを本気で考えることが大切だとも気づきました。私は、自分を売り込むというより、背伸びせず自分らしい、素の状態を採用試験に臨み、内定を獲得することができました。



2016年3月
仏教学科卒業
山口 果
内定先: 株式会社ACN

キャンパストピックス

2015年11月22日(日)

真宗大谷派学校連合会共催事業

親鸞エッセイコンテスト

「親鸞さんに、いま、伝えたいこと」表彰式

2015年11月22日(日)、大谷大学報恩講式典後に、真宗大谷派学校連合会共催事業として実施した親鸞エッセイコンテスト「親鸞さんに、いま、伝えたいこと」の表彰式を執り行いました。

今回のコンテストでは、中高校生部門4324通、大学生部門123通、一般部門66通で、合計4513通の応募がありました。

そのなかから、中高校生部門は最優秀賞(1名)・優秀賞(4名)、大学生部門と一般部門は最優秀賞者1名ずつ表彰式に出席いただきました。

草野顕之学長には、中高校生および大学生の作品に対して「若く瑞々



しい文章で表現されていたので、大変感動した。学校という身近な場をとおして、日々感じていることを率直に宗祖に伝えていようだった」と講評いただきました。

また里雄康意理事長からは一般部門の作品について「中高校生や大学生とはまた違い、ご自身の経験に基づき、自己を深く深く内省されていることが見事に表現されていた。審査員をつとめたわけであるが、私自身、勉強させていただいた。大変ありがたい機会を頂戴した」とのコメン

トをいただきました。今回、全国各地からたくさん応募



2015年10月13日(火)

2015年度 雲井奨学金奨学生 証書授与式を実施

雲井昭善名誉教授からの寄付金を財源とした雲井奨学金は、大谷大学での学びに強い意欲をもちながら、経済的事情により修学が困難な学生に対して給付されるものです。

2015年度は、21名の出願があり選考のうえ7名の方が奨学生として採用され、尋源講堂において奨学生証書授与式が行われ、草野顕之学長より奨学生証書が授与されました。草野学長は「奨学生の皆さんはこのことをきっかけに、雲井先生の願いに応えられるよう今後も努力していただき、皆さんの学問の完成をめざしてほしい」と期待の言葉をかけら

れました。昨年100才の誕生日を迎えられた雲井先生は、「大谷大学ならではの人間の学をしっかりと学んでほしい。社会人になった時、社会に奉仕還元今というならボランティアに参加できる機会があれば参加して、生きてきた存在の意味を確かめてほしい」と奨学生に熱く語られ、授与者に向けた言葉を色紙にし、そのレプリカを記念品として授与者に贈呈されました。奨学生の皆さんがさらに学びに励まれることを期待します。



2015年11月1日(日) 本学学生が「第41回スポーツチャンバラ世界選手権大会」で優秀な成績を収める

2015年11月1日(日)に東京で開催された「第41回スポーツチャンバラ世界選手権大会」において、文学部歴史学科第4学年の小泉(濱田)風磨さんが、個人種目の長剣フリー二段の部で準優勝、クラブ対抗団体戦打突競技で優勝(2連覇)と優秀な成績を収めました。

小泉さんは、小学校3年生の時にスポーツチャンバラという競技にふれ、大学生となって第2学年からは継続して世界大会に出場しています。



今回の成績について小泉さんは「個人戦では相手(3年前のグランドチャンピオン)が悪かったとはいえ、不甲斐ない結果でした。来年こそチャンピオンになるために練習に励んでいます。団体戦でも大会初の3連覇をめざしてがんばります」と既に、来年の大会に向けて気持ちを切り替えています。

2015年10月16日(金)

食育イベント

料理教室を開催

2015年10月16日(金)、料理教室「京都舞鶴産の魚でイタリアンを食す」(魚さばきます)を2号館小児保健実習室、栄養実習室で開催しました。参加者20名(男性8名、女性12名)は、学内食堂典座の管理栄養士の秦さんと小野さん、舞鶴水産流通協同組合のお魚かたりベの嶋田さんから魚の栄養と新鮮な魚の見分け方について講義を受けました。その後、学内食堂店長の加藤さんよりイタリア料理の「アクアパツツア」きのこのスパゲティ「サラダ」の調理法について教わりました。

この日の魚は舞鶴産の小鯛。一人一匹ずつ、二枚卸しにしました。皆真剣な表情で取り組み、さばいた後は笑顔がこぼれていました。また、グループ内では声を掛けあい、野菜

を切る人、スパゲティをゆでる人、ドレッシングを作る人など役割分担をして楽しく調理を進めていきました。

参加者は「魚をさばけて嬉しかった」「案外簡単で楽しかった」「美味しかった」と感想を述べていました。

今回、きのこが苦手だという人が何名かいたのですが、「美味しく食べることができました」という報告がありました。皆で調理し、味わたることが良かったのかもしれない。料理教室をきっかけに好き嫌いをなくささまざまな食材を食べることができるようになれば嬉しく思います。

レシピをご希望の方は保健室でお渡ししますのでお越しください。次回の料理教室もご参加をお待ちしています。



2016年度博物館開館予定

春季企画展

2016年4月1日(金)～5月21日(土)
大谷大学のあゆみ
赤レンガの学舎

夏季企画展

2016年6月14日(火)～7月30日(土)
大谷大学所蔵の考古資料(仮)

秋季企画展

2016年9月6日(火)～9月24日(土)
大谷大学博物館の逸品
重要文化財「湯浅景基寄進状」(仮)
(実習生展併催)

冬季企画展

2017年1月11日(水)～2月10日(金)
京都を学ぶ
三舟文庫 舟橋水哉コレクション(仮)

特別展

調整中

詳しい情報は…大谷大学ホームページ
<http://www.otani.ac.jp/01>

2016年度イベント予定

2016年4月4日(月)～4月9日(土)

新入生歓迎イベント・若葉祭

新入生の皆さんに、4月から充実した学生生活をおくってほしいという願いを込めて、4月4日(月)～9日(土)に、さまざまなイベントを新入生歓迎実行委員会が企画しています。

特に、4月9日(土)に開催する若葉祭では、学内団体のテントや特設野外ステージにおいて、クラブ・サークル紹介やパフォーマンス、ライブなどで盛り上がります。ぜひご参加ください。



2015年11月12日(木)

幼児教育保育科「保育内容・健康」で 遊びの伝承を活用した交流事業を実施

2015年11月12日(木)、幼児教育保育科の第1学年を対象にした授業「保育内容・健康」におきまして、「京都桑田村」の方々17名と遊びの伝承を活用した交流を行いました。

幼児教育保育科では、これまでにNPO法人丹波ネットと地域貢献活動についてさまざまな協議を行ってきました。そのなかの一つとして2015年の6月と10月、市内のたかつかさ保育園の野外実習に、授業の一環として5名の学生が参加したことから「京都桑田村」の方々との交流が始まりました。

「京都桑田村」とは、南丹市美山町の高齢者の方々が地域活性化のために立ち上げた組織です。代表の柿迫さんによると、メンバーの方々は今回の交流を大変楽しみにされており、学生に楽しんでもらうために前日も皆さんで練習をされていたそうです。

授業のなかでは、最初に3つの班に分かれて、それぞれの班ごとにお手玉やメンコ、おはじき、あやとり、竹とんぼなどを教えてもらいながら一緒に遊んでいました。その後、ゴムとびや縄跳びを行い、最後には参加者全員でじゃんけん列車を行って交流を楽しんでいました。

今回の交流事業では、地域活性化



への貢献とともに、現在失われつつある「多世代間の伝承」を図り、保育者としての「遊び」のスキルアップと子どもへ伝承することの意味を理解してもらうことを目的としています。受講生の植有里佳さんは「年配の方々と全力で遊べて楽しかったです。自分たちが知らない遊びをたくさん教えていただき、シンプルなおもちゃでも工夫次第で楽しく遊べることがわかりました。保育者となったら子どもたちに伝えていきたいです」と感想を述べてくれました。

幼児教育保育科では、今後も「京都桑田村」と遊びのルールブックを共同制作するなどより交流を深めていく予定です。

→ 詳しい情報は…大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/2015>

*キャンパストピックスの学年表記については、2015年度のものであります。

Information

学生へのメール連絡について

2016年4月より、学生の皆さんに電子メールで連絡する場合は、学生個人の携帯端末(携帯電話・スマートフォン)などのプライベートなメールアドレスではなく、大学が付与するounetの電子メールアドレスに向けてのみ送信しますので、お知らせします。

休講情報などを含む大学からの重要な連絡を、自身の携帯端末で受信する方法としては、大学宛メールの同期・転送設定を推奨しています。大学からの重要な連絡をすぐに活用できるようにするために、同期・転送を未設定の方は速やかに設定してください。なお、同期・転送設定のマニュアルについては、以下のサイトを参照してください。

<http://web.otani.ac.jp/mail/>



なお、「学生向け情報提供システム」や「学内インフォメーション」からでも設定方法を確認可能です。

設定の所要時間はおよそ10分程度で、設定にはounetアカウントが必要です。パスワードを忘れた場合は情報処理準備室、教務課、学生支援課、キャリアセンターで再発行の手続きをしてください。パスワードの再発行は、原則翌日発行となりますので注意してください。

また、4月末ごろには設定がうまくいかない人を対象として、個別設定講習会を開催する予定です。自分で設定を試して、うまく設定できない学生の皆さんは、講習会に参加して設定を完了してください。個別設定講習会終了後のサポートについては、お近くの情報教育アシスタント(総合研究室・情報処理教室・人文情報学科サポート室)に相談してください。

また、同期設定については、スマートフォン上での設定となり、機種変更を行った際には再度設定を行う必要がありますので注意してください。

Our teacher

私たちの先生

IT業界での経験に基づく、生きた知識・ノウハウを教えてくれるプロフェッショナル。



人文情報学科 准教授
上田 敏樹

1953年福岡県生まれ。2012年社会人学生として信州大学大学院工学系研究科情報工学専攻修了(工学修士)。1976年国際電気電話株式会社(KDD)入社。国際電気通信連合(ITU,在ジュネーブ)、KDDシンガポール事務所、日本インターネットエクスチェンジ(株)、ビハナ・パシフィック(株)、ソフトバンクテレコム(株)などの勤務を経て、2014年に大谷大学文学部着任。専門/情報工学

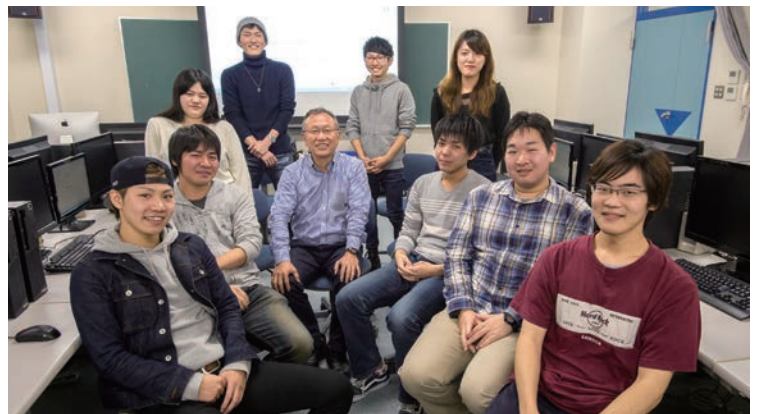


就職活動における面接をはじめ、自己紹介や発表など、社会に出れば人前で話すさまざまな機会が訪れます。しっかりと相手に伝えるためにはどんな準備が必要なのか、緊張せずに話すにはどうすればいいのか、iPadなどのデバイスを活用する際にはどんなスライド構成にすればいいのかなど、人文情報学における研究方法とプレゼンテーションの方法の基礎を学ぶのが上田ゼミです。

上田先生は、日本を代表するIT企業で長く勤め、実社会で求められる知識やスキル、ノウハウを持つプロフェッショナル。経験に基づきリアルな学びができるほか、SNSの新たな活用術やウェアラブル端末といった最新技術などを積極的に取り入れてくれるので、刺激的で面白い学びができるのが大きな特徴です。昨年12月には、スペインのバルセロナからFace Timeを使っ

た遠隔授業を行いました。また、国家資格であるITパスポートの受験対策もしっかり行ってくれるので、上田ゼミの合格者は学内トップ。将来、IT業界をめざす学生はもちろん、ネットワークや情報通信に興味がある学生が集まり、楽しく授業を受けています。

そんな上田ゼミではB B Qや飲み会などのイベントも多く、先生と学生の距離が近いのも特徴の一つ。学生一人ひとりに親身になって接してくれる上田先生は、まるで世話好きなお父さんのよう。IT業界経験者ならではの視点で学生の将来の夢を真剣にサポートしてくれる、優しくも頼もしい存在です。



紹介してくれた上田ゼミ(第3学年)の皆さん



先生から学生たちへのメッセージ

3つの言語を修得してほしい。一つめは自然言語。これには日本語表現力の他に、英語や第2外国語の語彙や使い方が含まれます。特に英語は二つめの言語を活用するうえでとても重要です。その二つめはプログラミング言語。私のお奨めはまずはC言語。それにプログラミング言語Rです。Cは最近のプログラミング言語の基本であり、他の言語修得が容易になります。Rはデータの統計解析用であり、社会の状況をデータを使って可視化するためにはとても便利なツールです。そして三つめは会計言語。財務諸表を読み解く力はビジネスの世界でとても役立ちます。将来の株取引にも使えるかもしれません。

3つの言語と書きましたが、各々を平均的に使える能力よりも、一つだけいいのでダントツ能力、尖った能力を身につける方が社会に出るからは評価に結びつくかもしれません。

学びましょう。学びの習慣を身につけた後は、更に楽しいことが待っています。

Learning is pleasurable but doing is the height of enjoyment. (ドイツの詩人ノヴァーリスの言葉)

ENJOY!

ライブ

アフタースクールをもっと楽しもう!

今回は、四季折々の多彩なメニューがうれしい
そば・うどん処「源(みなもと)」をご紹介します。
ぜひお友達と誘い合っ出てかけてみてね!

厳選されたお蕎麦をはじめとした、多彩なメニュー。



大谷大学から徒歩6分
優しい雰囲気のお店
みなもとと大谷大学の関わり

大谷大学の歴代学長をはじめ、大勢の大谷大学の先生や学生が足を運ぶそうです。16年前に右京から北大路に移ってからは、大谷大学の学生がアルバイトに来たこともあるそうで、大学との関わりが深いようです。ぜひ、皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか!



お酒好きの店主が
こだわって厳選した
お蕎麦とおうどんに合う
お酒もご賞味あれ!!

みなもとさんは、お蕎麦やおうどんに合うお酒も楽しめるお店です。中でも生酒は日本酒の香りがきつくないので、普段は日本酒が苦手という方でも飲みやすく、ワインのような感覚で日本酒がいただけます。秋上がりやひやおろしのお酒も置かれていて、これは新酒に1度だけ火入れをし、秋まで熟成させたものなので、また違った深い味わいが楽しめるそうです。自家製のコシのあるお蕎麦やおうどんとともに、店主のこだわりのお酒を楽しんでお気に入りの組み合わせを探してみるのも楽しいですね。

※未成年者の飲酒は法律で禁止されています。



気軽に食事ができる
カウンター席から
大人数でも座れる
テーブル席まで
揃っています!



みんなでワイワイと
食べたりするのも
楽しそう~!





写真左より/ 山崎友梨(第4学年)・松本幸希(第3学年)・三石美由(第4学年)・清水美希(第3学年)・谷川眞実(第4学年)・青山紋叶(第3学年)

私たちは社会学科の女子で集まって活動している『社girl』のメンバーです。今回は、どれも美味しいものばかりの心も体も温まるお店をご紹介します!

谷大

いろんな種類で目移りしてしまう 20年前から変わらぬたくさんのメニュー どれを選んでもみんな美味しいものばかり!

みなもとはメニューがとても多く迷ってしまうほどたくさんあります。たくさんあるメニューですが、開店当時から変わらずあるものばかりだそうです。季節のメニューなどもありますが、基本メニューは20年前からずっとあるものだと思うと驚きです! 店主のオススメは、なめこそばだそうです。他ではなかなか見ることのない珍しいメニューもいろいろあり、何回も通ってしまいたくなりますね~!



またみんなで行きたいね!



今回ご紹介したお店の情報はこちら!



店名	そば・うどん処 源(みなもと)
住所	京都市左京区下鴨上川原町2
交通	地下鉄烏丸線「北大路」駅3番出口より徒歩6分
営業時間	11:30~1:00
定休日	年中無休



2015年度 大谷大学教育後援会 文芸奨励賞

大谷大学教育後援会文芸奨励賞は、学生支援事業の一環として本学の学生を対象に文芸作品を募集し、「言葉による表現意欲を奨励すること」を目的に、2006年に創設された賞です。

2015年度は『これが私の分岐点』というのがテーマでした。50字以内の自由表現で作品を募集いたしましたところ、185編の応募がありました。まだまだ低調なのが残念です。

作品は環境・両親・先生・友情・生死と、自分を取り巻く事柄を切実に伝えた表現が多くありました。読む側も「その通り！」うん！うん！よくわかるその気持ち」と頷かせていただけたり、笑わせていただけたりするような、個性あふれる作品に出会えたと思っております。

文芸奨励賞は、文科の大学として大きな意義をもつものであります。今回応募されなかった皆様、そして今回惜しくも受賞を逃した皆様、ひよっとすれば今まで気づかなかった、自分の隠れた才能を発見できるいいチャンスになるかもしれません。今年度もあなたの作品を心よりお待ちしております。

大谷大学教育後援会 会長 三村 智子



文芸奨励賞表彰式
2015年11月22日(日)

最優秀賞

文学部 第4学年 教育・心理学科
岩崎 冨 (イワサキサエ)
里イモが嫌いでした。
土臭くて じやりっとする。
里イモの大好きな友人ができました。
今では里イモが 大好き。

優秀賞

文学部 第1学年 教育・心理学科
足立 夕桂 (アダチ ユカ)
これでよかったの？
今でも不安に思うよ
お前なら大丈夫
背中を押してくれた君の言葉は
私に今をくれたんだ

文学部 第2学年 文学科
三橋 琴末 (ミハシコトミ)
木登りをしていた。
太い幹の先
私はどの枝に
手をかけよう。

佳作

文学部 第1学年 教育・心理学科
石塚 壮一郎 (イシヅカソウイチロウ)
母とのへその緒が切れた時
これが私の分岐点

テーマ「これが私の分岐点」

文学部 第4学年 教育・心理学科
奥野 映美 (オクノ エミ)
弟が生まれたとき。
今まで私ひとりのものだった
おもちゃが半分こになった。
でも、両親の愛は変わらなかった。

文学部 第1学年 教育・心理学科
川井 真由 (カワイ マユ)
過去を変えられることはできない。
だが、今と未来を変えられるのは
自分次第だ。

文学部 第1学年 歴史学科
川端 有花 (カワハタ ユカ)
「今まで我慢させてきたから
好きなことを勉強しなさい」
この母の一言が私の分岐点である。

文学部 第1学年 歴史学科
川村 晶 (カワムラ アキ)
ギリギリスを殺した
蝉時雨が鳴り止む
虫の命も私の命も同じだと
知っていたはずなのに
私はギリギリスを殺した

文学部 第1学年 歴史学科
北風 資 (キタカゼ セミト)
ああすればよかった
こうすればよかった
タイムマシンがあったら
でも、そんな過去を失くしたら
今は幸せかな？

文学部 第1学年 哲学科
齋藤 日花梨 (サイトウ ヒカリ)
60分の出来事でした。
クソ田舎で女の子が踊る映画をみた、
高2の秋
ばちん！
私は私と目が合った。
はじまる！

文学部 第2学年 真宗学科
長谷部 暢弥 (ハセベ マサミ)
東日本大震災
「命」の尊さを思い知らされた日
「生きる」というすばらしい事
当たり前ではない
「生きる」という事

文学部 第2学年 真宗学科
松崎 貴弘 (マツザキ タカヒロ)
高三の冬、
ひきこもりだった
私は、光に出遇った。
二年の殻を破り、
縁の世界へ。
これが私の分岐点

文学部 第1学年 国際文化学科
宮地 聖光 (ミヤヂ マサミツ)
「絶対に秘密だよ」
「誰にも言わないで」
なんて言葉は軽いのだろう。
それを知った瞬間。

※学生の学年は、入賞作品発表時のものです。

執行部の交代

【大谷大学長(第28代)
兼大谷大学短期大学部学長】

木越 康

(任期は2020年3月31日まで)
(前大谷大学
兼大谷大学短期大学部学長
草野 顕之)

【学監・副学長】

宮崎 健司

(前学監・副学長 水島 見一)
【教育・学生支援担当副学長
兼文学部学長】

渡辺 啓真

(前教育・学生支援担当副学長
兼文学部学長 木越 康)

松川 節(再任)

【研究・国際交流担当副学長】

【学生部長】

箕浦 暁雄

(前学生部長 福島 栄寿)

大秦 一浩

(前入学センター長 村山 保史)

乾 源俊

【大学院文学研究科長】

三木 彰円

(前短期大学学長 藤本 芳則)

館長等の交代

【図書館長】

山本 貴子

(前図書館長 番場 寛)

齋藤 望(再任)

【博物館長】

松川 節(再任)

【真宗総合研究所長】

【人権センター長】

福島 栄寿

(前入学センター長 藤原 正寿)

2016年4月1日付(各通)

2016年4月1日付(各通)

2016年4月1日付(各通)

2016年4月1日付(各通)

2016年4月1日付(各通)

附属幼稚園園長の交代

【幼稚園園長】

徳岡 博巳(再任)

(2016年4月1日付)

定年退職

【教育職員】

朝比奈 覚順

(教授/文学部/教育・心理学科)

一色 順心

(教授/短期大学部/仏教科)

デッキーコルニルアルブレヒト

(教授/文学部/国際文化学科)

水島 見一

(教授/文学部/教育・心理学科)

山野 俊郎

(教授/短期大学部/仏教科)

深堀 俊子(教育研究支援部)

(2016年3月31日付(各通))

契約期間満了による退職

【教育職員】

赤澤 清孝

(任期制講師/文学部/社会学科)

青柳 英司

(任期制助教/文学部/真宗学科)

一澤 美帆

(任期制助教/文学部/文学科)

上田 早記子

(任期制助教/文学部/社会学科)

孫 知慧

(任期制助教/文学部/歴史学科)

鳴 一志

(任期制助教/文学部/真宗学科)

堀田 和義

(任期制助教/文学部/仏教学科)

【事務系嘱託】

池畑 聡美(学生支援部)

石井 実穂(教育研究支援部)

上西 量子(学生支援部)

大下 志保(総務部)

柏 淳子(学生支援部)

唐崎 加奈世(企画・入試部)

児玉 佳(企画・入試部)

小林 千紗(教育研究支援部)

高橋 良子(学生支援部)

田村 有美子(教育研究支援部)

中井 晴恵(教育研究支援部)

西山 沙織(学生支援部)

福吉 朋恵(総務部)

梁 順蓮(総務部)

【寮監】

井野 了慧(貫練学寮)

田端 彩子(自灯学寮)

古荘 巨義

(学習支援アドバイザー)

(2016年3月31日付(各通))

依願退職

【教育職員】

中森 一郎

(教授/文学部/社会学科)

藤原 美沙

(任期制助教/文学部/国際文化学科)

(2016年9月30日付)

新規採用

【事務系嘱託】

井尻 美帆

(企画・入試部)

北村 比佐絵

(企画・入試部)

(2015年10月1日付(各通))

【教育職員】

赤澤 清孝

(准教授/文学部/社会学科)

高瀬 淳也

(准教授/文学部/教育・心理学科)

安藤 香苗

(講師/文学部/文学科)

大原 ゆい

(講師/文学部/社会学科)

朝比奈 覚順

(特別契約教授/文学部/教育・心理学科)

水島 見一

(特別契約教授/文学部/真宗学科)

藤原 美沙

(任期制講師/文学部/国際文化学科)

翁 和美

(任期制助教/文学部/社会学科)

志賀 信夫

(任期制助教/文学部/社会学科)

濱野 亮介

(任期制助教/文学部/歴史学科)

三鬼 丈知

(任期制助教/文学部/文学科)

宮崎 展昌

(任期制助教/文学部/仏教学科)

尼崎 皆登

(総務部付)

高田 理可

(総務部付)

田邊 望

(総務部付)

村上 良顕

(総務部付)

横田 茉紀

(総務部付)

上田 祥子

(総務部)

太田 美紀子

(企画・入試部)

岡田 明子

(学生支援部)

北村 和香

(総務部)

竹田 裕衣子

(学生支援部)

竹村 なつえ

(企画・入試部)

田中 基代

(総務部)

田端 彩子

(教育研究支援部)

常本 奈那

(学生支援部)

橋本 佳奈

(学生支援部)

林 容子

(教育研究支援部)

【事務系嘱託】

森川 茜音

(企画・入試部)

水谷 英紀

(教育研究支援部)

舟崎 仁美

(総務部)

林 里紗

(教育研究支援部)

【寮監】

大地(貫練学寮)

北本 多笑美(自灯学寮)

【学習支援アドバイザー】

小川 直人

(2016年4月1日付(各通))

昇格

【教授】

赤瀬 知子(文学部/文学科)

阿部 利洋(文学部/社会学科)

井上 尚実(短期大学部/仏教科)

浦山 あゆみ(文学部/文学科)

鈴木 寿志

(文学部/国際文化学科)

谷口 奈青理

(文学部/教育・心理学科)

三木 彰円(短期大学部/仏教科)

(文学部/教育・心理学科)

井黒 忍(文学部/歴史学科)

酒井 恵光

(文学部/人情報学科)

【講師】

上野 牧生(短期大学部/仏教科)

(2016年4月1日付(各通))

2016年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部・短期大学の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。2016年度の授業料のスライド率は、2015年度と同様0.00%とし、据置きとします。また、教育施設改善のための施設費および大学院の授業料も据え置き、2015年度と同額とします。

本学では2011年に今後の10年を見据えたグランドデザインを発表いたしました。このグランドデザインの実現を目標にし、教育研究の充実と学生生活、就職活動支援などのために学生の皆さんの学費を有効に利用し、さまざまな事業を実施します。

リメディアル教育の拠点となる学習支援室では、2016年度につきましても、引き続き学習アドバイザーによる基礎英語、日本語の読み書きを中心としたきめ細やかな個別指導を行っていきます。さらに、より高度な「読み書き」の能力を向上させるために開設した文藝塾では、さまざまな「読み書き」に関わる職業人の方をゲスト講師として招き、実践的な力を身につけるための「文藝塾講義」に加え、2016年度は、新たに「文藝塾演習」を開講し、「読み書き」力を徹底的に鍛えます。地域連携室は、地域社会の課題について、地域や各機関の方々とともに、調べ、考え、アクションを起こしていく拠点となり、活動を通じて、他者と協力し解決に向かって前進することができると人物の育成と地域貢献を両立したいと考えています。

他方、施設面では、本部キャンパス整

備計画の理念「自ら創る「学び」のかたち―伝統を、社会に開き、未来へつなぐ―」のもと、教室棟の建替え計画を推進しており、2016年9月には、中央・南エリアの利用を開始いたします。広大な学生ロビーを中心に多様な教育空間を実現して、「教室（従来型の大教室に加え、少人数教育型の教室を多数設置）」や各種の「支援室（サポートセンター）」、「学生支援部（教務課・学生支援課・キャリアセンター）事務局」、「交流スペース（マルチスペース）」を配置しており、学生の学びや活動を有機的にサポートいたします。

学生納付金は一年分を「前期」と「後期」の二回に分けて、納入いただきます。前期学生納付金の納入期限は、4月20日（水）「後期は9月30日（金）」（銀行受付日付有効）です。振込依頼書は、保証人（学費負担者）宛に4月1日（金）「後期は9月1日（木）」に大学より発送しますので、納入期日までに納入してください。納入期日までに納入のない場合は、学則により除籍となりますのでご注意ください。

なお、振込依頼書が届かない場合や、紛失・破損した場合には再発行いたしますので、財務課までお申し出ください。

また、事情により期日までに納入が困難と予測される場合には、学生支援課にて学費延納の手続きを4月20日（水）「後期は9月30日（金）」までに行ってください。学費延納の手続きには、「学費延納許可願」（所定用紙）および学費負担者の所得証明書（納税証明書・源泉徴収票等）が必要となります。ご注意ください。

2016年度学生納付金一覧			学 費		その他の費用					合計額
			授業料	施設費	大谷学生会費	学生会費	教育後援会費	※同窓会 入会金	※同窓会 終身会費	
前期	文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000			591,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000			558,500
	大 学 院	修士・博士後期課程 (教育・心理学専攻除く)	240,000	100,000	1,000		15,000			356,000
		修士課程 (教育・心理学専攻)	240,000	110,000	1,000		15,000			366,000
	短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000			516,000
		幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000			526,000
後期	文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
		人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	626,000
		教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	593,500
	大 学 院	修士・博士後期課程 (教育・心理学専攻除く)	240,000	100,000	1,000		15,000	5,000	30,000	391,000
		修士課程 (教育・心理学専攻)	240,000	110,000	1,000		15,000	5,000	30,000	401,000
	短期大学部	仏教科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	551,000
		幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	5,000	30,000	561,000

※ 本学では、学費のうち文学部および短期大学部の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用していますが、2016年度は据置きとしています。

※ 文学部第4学年、短期大学部第2学年、大学院修士課程第2学年、大学院博士後期課程第3学年に本年度進級する場合は、後期学費納入時に同窓会入会金と同窓会終身会費の納入が必要です。

なお、本学短期大学部・文学部を卒業、修士課程を修了時など、過去に同窓会入会金・終身会費を納入されていれば不要です。

※ 休学をする場合は、在籍料として半期毎に60,000円（学部学科共通）の納入が必要です。納入期日は、4月20日（水）[後期は9月30日（金）]です（締切日厳守）。

※ 修業年限を超えての在籍者については、一定条件のもと授業料が減額されます。

→ 詳しい情報は…大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/gakuhi16>

教育後援会だより

2015年度 教育後援会事業について(報告)

わくわく朝食(定期試験応援フェア)実施

2015年度の新規事業として、教育後援会より1食197円の補助をいただき、7月および1月の定期試験期間中に、朝食が100円で提供されました。朝ごはんをしっかり食べて、定期試験に臨む学生が多くみられました。

賠償責任加入補助

2015年度の新入学生より、学生総合保障制度の中の「賠償責任部分」に全員加入できるよう、教育後援会より補助をいただきました。

キャンパス総合整備・新教室棟建築へ2億円寄付

現在取り組んでいる、キャンパス総合整備・新教室棟建築に対し、2015年度に教育後援会から2億円の寄付をいただきました。

全国父母兄弟懇談会開催

2015年9月19日(土)、大谷大学を会場に開催され、全国から約300名のご父母兄弟の皆様にご出席いただきました。

講堂では、本会開催の趣旨説明の後、具体的な学生支援体制や、キャンパス総合整備・新教室棟建築についての説明が行われ、キャリアセンターからは就職活動の取り組みや、父母兄弟と学生との連携の必要性について説明されました。

講堂での説明の後、会場を博覧館へ移し、学別の「教員との個別懇談会」が実施されました。学生の授業等を指導している教員(指導教員)とご父母兄弟が直接懇談できる場となり、父母兄弟は学生の授業中の様子などを聞いておられました。

また、大学事務職員等による、「成績・進級・進路・就職」、「海外留学」、「入試相談」、「学生生活」、「学生相談員との面談」の各コーナーが設けられ、さまざまな相談が寄せられました。

例年より多くのご出席をいただき、各相談コーナーでは長時間お待ちいただく場合もありました。熱心な相談が寄せられ、年に一度の貴重な機会となりました。



全国父母兄弟懇談会
大学現況報告の様子

四国地区父母兄弟懇談会開催

2015年12月12日(土・13日(日))に、松山市、高松市において「四国地区父母兄弟懇談会」が開催されました。教育後援会会長をはじめ、本学学長、学監、事務局長、成績・進級・進路・就職等を担当している大学事務職員が赴きました。全国父母兄弟懇談会とは異なり、少人数での開催ではありましたが、当該地域のご父母兄弟とじっくり懇談できる有意義な時間となりました。



四国地区父母兄弟懇談会
会長挨拶の様子



四国地区父母兄弟懇談会
個別相談の様子

恒常的な補助について

課外活動団体への活動補助、就職支援として筆記試験対策・面接実践講座等に対する補助、学内食堂の日替わりランチや、ビッグバレーカフェの日替わり100円パンへの補助、各種奨学金や奨励金の給付・賞与が行われました。

※その他の事業につきましては、8月発送予定の「教育後援会報告書」にてご報告いたします。

2016年度 教育後援会行事について(お知らせ)

2016年度は左記のとおり行事を開催する予定としております。

なお、全国保護者懇談会は、学生指導上、「履修単位通知書」の配付時期や、聴講登録修正期間等の学年暦を鑑み、決定しております。是非ご出席くださいますようお願いいたします。

北陸地区保護者懇談会*
7月17日(日) ボルファートとやま (富山県富山市)
7月18日(月・祝) ホテル金沢(石川県金沢市)
全国保護者懇談会
9月24日(土) 大谷大学
九州地区保護者懇談会*
12月10日(土) リファレンス 大博多ビル貸会議室 (福岡県福岡市)

*該当地区に在住の保証人へ案内

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互並びに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催してさまざまな事業計画を企画・推進しています。

→ 詳しい情報は…大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

教育振興資金(募金)について

このたびは、教育振興資金局の募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。今後もし引き続き、募金のお申し込みを受け付けておりますので、ご支援ありがとうございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

また、本学の設立母体である学校法人真宗大谷学園では、広くご寄付を募るとともに、利便性を高めるため、インターネットを利用したクレジットカード決済によるご寄付の受け入れも行ってまいります。詳しくは、大学ホームページをご覧ください。

なお、2015年7月1日から2016年1月31日までの間に、ご寄付いただいた方々のご芳名は次のとおりです。

浅田 純(長崎県)	譚 雨生(滋賀県)
井上 正(新潟県)	月輪 泰(福井県)
加藤 祐彰(福井県)	中村 大立(鹿児島県)
木村 友彦(滋賀県)	東山 正賢(青森県)
米田 幸代(大阪府)	末井 等(石川県)
佐長 光祥(香川県)	村田 和久(京都府)
新川 美由紀(香川県)	匿名 11名
龍山 了榮(千葉県)	

公益財団法人
武田科学振興財団
理事長
横山 巖(大阪府)

◆ 件数 26件
◆ 寄付金総額
1,685,000円

税法上の優遇措置について

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)並びに税額控除に係る証明(税額控除制度)を受けております。そのため、寄付者個人の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。

大谷大学キャンパス総合整備・新教室棟建築資金(募金)について

現在進行しております、キャンパス総合整備・新教室棟建築に係る募金につきましては、2015年12月に別途お送りいたしました募金趣意書をご確認ください。また、既にこの建築資金のためのご寄付をいただいた方へは厚く御礼申し上げます。建築資金としてご寄付いただいた方のお名前については、左記の「教育振興資金寄付者」一覧とは別に、別途名簿を作成する予定です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

お問い合わせ先

教育振興資金事務局 〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター内
TEL:075-411-8124 FAX:075-411-8157 E-mail:kouyu@sec.otani.ac.jp

ゼミでの出来事

教員の経験には、時に大変面白く、また忘れたいものがある。先日、ゼミで一人の学生が卒論の中間発表をした時のことだ。彼女は自由と運の関係というややこしい倫理学の問題をテーマに選んでおり、他の4年生と同様に自分が書くこうとしていることをまだうまく掴まえきれずにいた。そのなかで、彼女がふと次のようなことを言った。「私たち、小学校の頃はまだ規則とかいっぱいあって、自由じゃなくて……でも今もう大学生で、就職とか自分で決めなきゃいけないし、卒論も自分でテーマ決めて書かなきゃいけない。たしかに自由なんだけど、何か今のほうがちょっと怖くて、だんだんきつくなるっていうか……」。彼女がこう言った瞬間、それを聞いていた他の4年生が一斉に、ものすごく大きく、まさに全身でコクッ、コクッとうなずくが見えた(ちなみに、私が日頃どれほど立派な倫理学説を披露しようと、彼らがこれほど大きくうなずいたことはない)。



哲学科
准教授
脇坂 真弥
専門分野/
宗教哲学・倫理学

これがこれほど若いにもかかわらず、そのことをもう知っている。それに気づいて、一瞬私はひどく胸が痛むような気持ちになった。

しかし、それだけではなかった。同時にこの時私は、「他人がいる！」と思っただけだった。誰も代わりに生きてくれない自分の人生を、私だけではなく、この人たちもまた生きていく——それは紛れもなく他人がそこに「いる」という感触であり、日頃ぼんやり生きている私にとって、目の前の擦り硝子がパンと割れるような鮮烈な経験でもあった。

年齢も来歴も考え方も自分とはまったく違う若い人たちのなかでこういう経験ができるということは、教師冥利というか、いやそれどころか人間冥利に尽きる。誰も代わりに生きてはくれない人生を歩んでいく若い人たちに幸多かれと願うとともに、またいつかこのような経験をしたいと心から思う。

編集後記

今回の巻頭対談に参加いただいた卒業生の方々は、教員という夢を叶えるため、連日大学へ通い自主勉強などを行い、そこから得た自らの力で夢を掴みました。教員の仕事や大学での学びについて語っていただき、将来の夢に向かって努力している学生の皆さんの参考になればと思います。(編集担当)



大谷大学は、2015(平成27)年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、同協会の大学基準に適合していると認定されました。



大谷大学短期大学部は、2015(平成27)年度に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受け、同協会の短期大学基準に適合していると認定されました。

認定の期間は、大谷大学、大谷大学短期大学部ともに2016(平成28)年4月1日から2023(平成35)年3月31日までです。上記のマークはその認定を証するものとして公益財団法人大学基準協会より使用を認められているものです。